
初級から上級までの一貫シリーズ Vol. 4

まな
学ぼう！にほんご
さくぶんれんしゅうちょう
作文練習帳

中級

日本語教育の参照枠 B2 / JLPT N2 / 日本語NAT-TEST 2Q 対応

日本語教育教材開発委員会 編著

専門教育出版

はじめに

本書は『学ぼう！にほんご 中級』に準拠した作文練習帳です。『学ぼう！にほんご』の教科書シリーズは、初級1から上級までの全6冊から構成されています。関連教材として語彙、文法学習の「練習問題集」、聴解学習の「聴解練習問題集」などがありますが、本書は作文能力育成のために編纂された「作文練習帳」シリーズの一冊です。『学ぼう！にほんご 初中級 作文練習帳』までに学んだ作文能力を想定して、本書を作成しました。

本書の学習目標は、中級の日本語学習者が、作文を書くことに慣れ、最終的に400字以上で自分の意見や主張を論理的に表現できるようになることです。

本書の特徴として、文章の構成や書き方の理解を助けるために、各節、例文の内容理解を問う問題を設けました。これによって作文に取り組む前の準備が自然にできるようにしました。

また、各章で目標とする文章の長さを次のように段階的に増やして、徐々にステップ・アップできるようにしました。

第1章 200字以上～300字以内

第2章 400字程度

第3章 400字程度

第4章 400字以上～500字以内

本書の構成は、4つの章からなり、それぞれ4節構成（第2章のみ3節）で、計15節あります。授業で使用する際は、1つの節につき1～2コマで行えるように想定しています。まず、各節の「テーマ」に触れて、テーマに対するイメージを膨らませます。次に、「読んでみよう」でそのテーマに関する文章の例を読み、「文型」や「表現」、「考えてみよう」で内容を理解します。その後、「書いてみよう」で質問に答えて、作文を書く準備をし、実際に原稿用紙を使って書きます。また、作文のルールや書き方の参考として「コラム」も別途、掲載しました。

本書を『学ぼう！にほんご 中級』の文型の定着や、様々な記述試験に対応できる力を育成するために、ご活用していただければ嬉しく思います。

2018年1月
編集者代表記す

本書の構成

本書は全4章、計15節からなっています。各節の構成は次の通りです。

(1) 目標

その節を学ぶと何ができるようになるかを定めたものです。一つの節で一つの目標が無理なく達成できるように設定しています。

(2) テキスト

各節がテキスト『学ぼう！にほんご 中級』の第何課に対応しているかを示しました。テキストで学んだ文型や表現を扱っています。

(3) テーマ

目標を具体化したものです。作文の準備段階としてこのテーマについて学習者と話し合ってください。

(4) 読んでみよう

各節のテーマに沿った文章例です。学習者が実際に作文を書くときの見本です。これを読み、文型や単語の使い方、文章の構成などを学びます。

(5) 文型

「読んでみよう」に出てきた文型とテキスト『学ぼう！にほんご 中級』に出てくる文型を中心に載せています。テキストの文型を定着させるために、「▶」の後にはその文型を使った例文を載せています。

(6) 表現

「読んでみよう」に出てきた単語やフレーズを載せています。これらはテキスト『学ぼう！にほんご 中級』には出てきませんが、よく使う表現なので紹介しました。

(7) 考えてみよう

「読んでみよう」の読解問題です。作文を書く前のウォーミングアップです。

(8) 書いてみよう

原稿用紙を使って書く練習をします。テーマに沿った複数の質問があります。作文を書くとき、それらの答えを順に配列すれば、自然に1つのまとまった文章が書けるようにしました。また、作文を書く目安となる時間を設定しました。

(9) コラムと巻末資料

作文を書く上で有用となるコラムを6つ掲載しました。本書巻末には「文型一覧表」「表現一覧表」「作文テーマ一覧表」を載せました。また練習問題の「解答例」と、「書いてみよう」で使用する原稿用紙（3種類）を載せました。

学習者の方へ（この本の使い方）

この本は『学ぼう！にほんご 初中級』の勉強が終わって、中級の勉強をする人が使う作文練習の本です。まだ長い文章を書いたことがない人や苦手な人でも、短い文章から始めて、少しずつ長い文章を書くことができるようになっていきます。

この本は第1章から第4章まであります。『学ぼう！にほんご 中級』で勉強した文型を使って、文章を書いていきます。第1章では、200字から300字くらいの文章を書く練習をします。第2章と第3章では400字程度の文章を書く練習をします。第4章では400字以上の長い文章を目指します。

この本を使うときは、最初にテーマについて自分で考えたり、クラスの友だちや先生と話し合ったりします。次に「読んでみよう」で文章の例を読みます。その文章の文型は『学ぼう！にほんご 中級』のテキストに対応しているので、意味や使い方はテキストを使って確認することができます。

「書いてみよう」の質問でテーマに関する内容に答えます。その答えを参考にして、実際に原稿用紙に書きます。なお、各節で文章を書く目標の時間を設定しています。その時間を守りながら書くことで、実際の試験対策にもなるでしょう。

節によって、「コラム」があり、そこで作文のルールや書き方を紹介していますので、こちらも文章を書く上での参考になればと考えています。

もくじ

はじめに.....	3
本書の構成.....	4
学習者の方へ（この本の使い方）.....	5
第1章 200字～300字の文章を書く	9
第1節 わかりやすく相手に伝える.....	10
目標：程度を表す表現を使って、物事を紹介したり感情を表現したりする。	
第2節 感情を豊かに表現する.....	14
目標：感情を表す表現を使って、自分の気持ちを強調して表現する。	
第3節 原因や理由を表す.....	18
目標：具体的な例を挙げて、原因や理由をわかりやすく説明する。	
第4節 否定の意味をやわらかく表現する.....	22
目標：「できない」「難しい」という言葉を他の文型を使ってやわらかく表現する。	
第2章 400字程度の文章を書く（丁寧体）	29
第5節 出来事を5W1Hで伝える.....	30
目標：伝聞表現を使いながら、出来事を具体的に説明する。	
第6節 時間の経過を伝える.....	34
目標：時を表す表現を使って、過去と現在について述べる。	
第7節 2つの物事を比較する.....	38
目標：2つの物事を比較し、共通点や異なる点に関して述べる。	

第3章	400字程度の文章を書く(普通体)	43
第8節	自分の考えを主張する.....	44
目標	場面や期間を表す表現を使いながら、意見を主張する。	
第9節	さまざまな角度から物事を考える.....	50
目標	物事をさまざまな角度から考えて、客観的に述べる。	
第10節	事実をもとにアドバイスをする.....	54
目標	順接や逆接の表現を使って、原因や理由を説明してアドバイスをする。	
第11節	場面を仮定して意見を述べる.....	58
目標	条件を仮定する表現を使いながら、それに関する自分の考えを述べる。	
第4章	400字～500字の文章を書く	63
第12節	将来を予測する.....	64
目標	可能性を表す文末表現を使いながら、将来を予測して述べる。	
第13節	自分の経験をもとに主張する.....	70
目標	長所と短所を述べながら、具体的な例を挙げて結論を述べる。	
第14節	物事を比べながら主張する.....	76
目標	物事を対比する表現を使いながら、自分の意見、主張を論理的に述べる。	
第15節	時事問題について考えを書く.....	82
目標	話題になっている問題を比較しながら考える。	

もくじ (つづき)

コラム

「話し言葉」と「書き言葉」.....	26
<small>とうてん</small> 読点「、」.....	42
長い文を書くときの注意.....	62
<small>しょうろんぶん こうせい</small> 小論文の構成.....	68
話し合ってみよう - 1 -.....	75
話し合ってみよう - 2 -.....	81

かんまつ しりょう 巻末資料

<small>ぶんけい いちらん</small> 文型一覧表.....	86
<small>いちらん</small> 表現一覧表.....	88
<small>いちらん</small> 作文テーマ一覧表.....	89
解答例.....	90
<small>げんこうようし</small> 練習用原稿用紙.....	92

第1章

200字～300字の文章を書く

第1節 わかりやすく相手に伝える

第2節 感情を豊かに表現する

第3節 原因や理由を表す

第4節 否定の意味をやわらかく表現する

第1節

わかりやすく相手に伝える

目標 <small>もくひょう</small>	<small>ていど</small> 程度を表す表現を使って、 <small>ものごと</small> 物事を <small>しょうかい</small> 紹介したり <small>かんじょう</small> 感情を表現したりする。	テキスト 第21、22課
-----------------------------------	---	-----------------

テーマ あなたの家族やクラスにはどんな人がいますか。あなたのまわりしょうかいにいる人を紹介しましょう。

 **読んでみよう1**

名前： キム _____

私がみなさんにしょうかい紹介したい人は、同じアルバイト先の先輩さき せんぱい なか たの中田さんです。中田さんはとても優しく、私がミスをしたおこしても怒ることなく、いつも助けてくれます。本当のお兄さんおにいさんのような存在そんざいです。彼の作る料理はびっくりするほどおいしいので、毎日お客さんおおが大勢ぜい来ます。

また、彼が私に日本語で話しかけてくれるおかげで、日本語もずいぶんじょうたつ上達してきました。とても感謝かんしゃしています。

文型

- ～ことなく ▶ 母は家族のために、休むことなく働きました。
- ～ような ▶ 彼は太陽たいようのような人だ。
- ～ほど ▶ まだ5月なのに、今日は驚くほど暑おどろいです。
- ～てくれる ▶ 彼が部屋そうじの掃除を手伝ってくれた。
- ～おかげで ▶ 山田先生のおかげで、大学に合格しました。

表現

- ～先 ▶ この電車の行き先さき とうきょうは東京です。
- (解説) 目的の場所。着くところ。



考えてみよう……………

1. キムさんと中田^{なかた}さんはどんな関係ですか。

2. 中田^{なかた}さんはどんな性格^{せいかく}の人ですか。

3. どうしてキムさんは日本語が上手になりましたか。



読んでみよう2……………

名前： リー

私がみなさんに紹介^{しょうかい}したい人は、同じクラスのカルロスさんです。彼とは、去年の10月頃^{ごろ}、このひまわり日本語学校で初めて出会いました。彼はブラジルで子どものころからサッカーをしていただけあって、サッカーが上手で、いつも熱心にサッカーを教えてくださいます。そのおかげで、私もサッカーが少し上手になりました。

先月、私はカルロスさんとサッカーの試合に出場し、勝ち進むことができましたが、残念^{ざんねん}なことに、決勝戦^{けっしょうせん}で負けてしまいました。泣きたいくらいくやしい気持ちになりましたが、またカルロスさんと一緒^{いっしょ}にサッカーがしたいです。

文型

～だけあって ▶彼は10年間アメリカに住んでいただけあって、英語がペラペラだ。

～ことに ▶うれしいことに、道で100円を拾いました。

～てしまう ▶すみません。きのうの宿題を忘れてしまいました。

～くらい ▶一日中歩いたので、もう歩けないくらい疲れました。

表現

～頃 ころ(ごろ)

▶明日、10時頃ごろにまたお電話します。

(解説) くらい。～のとき。



考えてみよう.....

1. リーさんとカルロスさんはどこで初めて会いましたか。

2. リーさんはカルロスさんに何をしてもらいましたか。

3. サッカーの試合はどうでしたか。



書いてみよう.....

1. あなたのまわりでいいところをたくさん持っている人は誰ですか。

2. そのなかでみなさんに紹介しょうかいしたい人は誰ですか。

3. その人とあなたはどんな関係ですか。

例：先輩せんぱい / 後輩こうはい / クラスメート / 両親 / 兄弟

4. その人のいいところはどんなところですか。

例：優しい / 厳しいきび / 面白いおもしろ / 優秀ゆうしゅう / 頭がいい / 真面目まじめ
